

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。町民の皆さんが集い、自由に意見を語り合う広場です。

ひとつごと

「(^o^)/」
日本のユニフォーム姿がとっても楽しみ

情報板

(*^▽^*) ふるさと納税の返礼で届く、心温まる広報紙

PN.誌上匿名希望
ふるさと納税の返礼で広報おうらを頂いています。町政HOTNEWSやJOYの特集、若者紹介で地域の人たちが取り上げられる記事を読むのが好きです。地域住民同士の絆があまり強く感じられない東京都民としては、ホットと心温まるような広報。今後も応援しています。



◎ 広報おうらも返礼品のひとつ。担当者にとっての返礼品は、皆さんの言葉です

KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

【今月の問題】

- 第1問 おうら祭りと同開催のダンスイベントは？
A. 邑祭 B. 邑踊
C. 邑ダンス (ヒント2ページ)
- 第2問 お便りをくれた先生は何人？
A. 6人 B. 30人
C. 36人 (ヒント4~5ページ)

応募方法 はがきに、答え(例：第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・**ひとつごと**を書いて郵送

あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 8月18日(当日の消印有効)

※当選者は広報おうら9月号で発表します。

【7月号の当選者】(応募数25通、全問正解23通)

- ※敬称略
小林郁夫(7区) 松崎明恵(15区)
加藤真弓(16区) 中田さち子(17区)
井上千代子(17区) 小谷野里恵(23区)
飯田茜(24区) 高橋泰子(34区)
中村安子(34区) 金澤紗由里(町外)

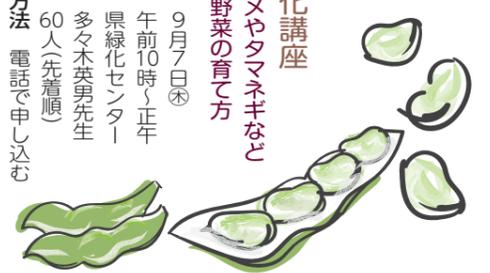


取材協力・吉本女子野球連盟
PN.佳那子ママ
第1回BFA女子野球アジアカップの日本代表選手に選ばれた投手の大野七海さん。これまでも広報おうらに載ったことがあります。ジャーナリストにいろいろなポイントで超カッコイイ投手は、娘の同級生。町内から日本代表なんて、応援に一層気合いが入ります。

取材協力・吉本女子野球連盟
PN.佳那子ママ
第1回BFA女子野球アジアカップの日本代表選手に選ばれた投手の大野七海さん。これまでも広報おうらに載ったことがあります。ジャーナリストにいろいろなポイントで超カッコイイ投手は、娘の同級生。町内から日本代表なんて、応援に一層気合いが入ります。

県では、9月10日の「下水道の日」にちなみ施設見学会を開催します。
▼期日 8月20日(日) 午前9時30分~11時 ②午後2時30分~4時
▼会場 西邑楽水質浄化センター(千代田町舞木)
▼内容 水がきれいになる仕組みを学ぶ
▼対象参加費 ご自身でも無料
※小学生以下は保護者同伴。
▼参加方法 直接会場に来場する
▼問合せ 県下水道総合事務所 ☎027-0-6517557

○出張緑化講座
もっと楽しみたいサボテンや多肉植物の種類と育て方
▼期日 9月14日(日)
▼時間 午前10時~正午
▼会場 前橋合同庁舎(前橋市)
▼講師 倉林輝生先生
▼定員 60人(先着順)
▼申込方法 電話で申し込む
▼申込開始 8月28日(日)午前8時30分
▼問合せ 県緑化センター ☎88-17188



森 紗野佳さん・あん莉ちゃん(1歳4か月) (天王元宿・5区)

物を投げたり、テーブルに登ったり、滑り台を逆走したり…と男の子のようにわんぱくな女の子。毎日バタバタしているけれど、楽しいです。外遊びも大好きで、日焼けして日に日に黒くなっています(笑)。最近のブームはお父さんとおまご。海外のかたにも呼んでもらいやすい名前を…と思い、「アンリ」と名付けたので、世界中にお友達がたくさんできたらいいな、と思っています。

DREAM 夢



吉原 健太郎さん 23歳
Yoshihara Kentaro (十三坊塚・6区)

■現在何をしていますか？
4月から社会人になりました。県内の銀行に就職しました。大学は都内でしたが、邑楽町が恋しくて戻ってきてしまいました。

■なぜ、恋しくなったのですか？
ずっと野球をしていたのですが、都内では機会がなくて…。だから毎年、盆野球には出場していました。やっぱり地元で野球をやるのって楽しいなって。だから、就職したら週末は野球という生活に憧れてしまいました。

■その生活は実現できましたか？
就活中に同級生から誘われて草野球チームに入りました。そこから、週末は野球生活。仕事が始まってからも、良い息抜きの時間です。それと、今年結婚をしました。これも邑楽町に帰ってきたからかな(笑)。そして、6月には子どもも産まれました。かわいくて、毎日癒やされています。お風呂に入れるのが私の役目。最初はすごく汗だくでしたが、今は慣れました。邑楽町に帰ってきて毎日充実しています。

俳句 文芸

あなうれし手のひらサイズの初胡瓜 福島 慶子
見つめれば皆顔となる雷の雲 大塚 久子
梅雨寒やホーム椅子の小座布団 岡田 尚美
遠き峰沸き立つ雲や夏兆す 長谷川繁樹
風そよぐ表穂が踊る散歩道 上原 弘子
手のひらに光集まる初なすび 青山 秀江
上州の風のささやき麦熟れる 金子 睦子
夕焼けに染まる山々麦の秋 早川 亨
あじさいや紺も色あせ空仰ぐ 金子 典子

桑の実や少年の日の赤き舌
十葉の呼び名こだわる父の皺
庭の百合供え一日の始まりぬ
雷一つ四方に逃げるランドセル
ソックスの穴繕うや梅雨寒し
藤井棋士時の人なり梅雨の晴
青梅や今ならわかる此の言
麦秋や健脚夫の八十路なり
新じゃがをゆでて自慢の夫の顔

短歌

船走のミラノ土産のチョコ嬉しとて変更わが旅の時
あじさいの咲けば思ほゆ北支にて果てし軍医の兄の面影
天の川妻の渡りし川なれど渡るに遠し十年は待てよ
石捨う家庭菜園カリジャリと猫の額の庭が畑に
帰国せし駆け付け警護の隊員は顔くしゃくしゃにし子を抱きしめる
いずれわが終の住処の高源寺川の向こうに生れし里見ゆ
豊作を願って刈りし黄金の麦の香の中一人佇む
鯉のぼり吹きぬく風に色つけて鶴田川面をゆうゆう渡る
見上げれば青空隠す花栗の白い漂う下蔭涼し

斎藤真紀子 中谷 和子
小林トヨ子 大野 智男
小谷野尋子 宮尾 静子
中繁貴実子 大塚 初代
石橋弥代江

曾我 公子
沼田とし子 遠藤 博道
持田 静江 菅谷千枝子
山崎 静子 島田 初美
橋本 俊幸

投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句
⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007 ☎89-0136 ㊚koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず
実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。



広告面



広告面



広告面



広告面



広告面



広告面



広告面



広告面

**広報おうらに
広告を
掲載してみませんか？**

**広告主
募集中!!**

申込月数	割引前	割引率	割引後
1か月	8,000円	なし	8,000円
2か月	16,000円		16,000円
3か月	24,000円		22,800円
4か月	32,000円	5%	30,400円
5か月	40,000円		38,000円
6か月	48,000円		43,200円
7か月	56,000円	10%	50,400円
8か月	64,000円		57,600円
9か月	72,000円		61,200円
10か月	80,000円	15%	68,000円
11か月	88,000円		74,800円
12か月	96,000円	20%	76,800円

町では「広報おうら」の紙面に有料広告を掲載しています。お得な割引制度もあります（左表参照）ぜひ、みなさんの会社やお店の宣伝にご活用下さい！

詳しくは...
邑楽町役場企画課
企画政策推進係
☎47-5009(直通)
☎89-0136
までお問い合わせください



HUMAN NOW



がんばってます

No.330

退職し何もせず、ぼけてしまふのも嫌だったので、手先を使う作業を、と考え家にあるもので作品づくりを始めました。

最初は、学生時代にやっていた竹細工をヒントにチラシを使った帽子やティッシュケースを製作。ここが私の作品づくりの原点です。次に、考えたのが家にあった山のようなプルタブの利用。今度はこれだと考え、プルタブ作品づくりを始めました。

試行錯誤し、最初に作ったのは、プルタブ数千個を使った、エッフェル塔やスカイツリー。今や気付けば、15作品以上を製作。ただ毎回作品はできるまでに数か月。地道な作業のくり返しです。



お気に入りの作品に囲まれ、地道な作業を続ける今野さん

プルタブといっても、40種類以上あります。同じ色や形で選別していきます。次に、プルタブ一つ一つをハンマーで叩く作業。プルタブは外したままですと、とがった部分が危険なのでつぶしていきます。そこから、プルタブを糸で編み込んでいき、各パーツを作っていきます。これでようやく下準備が終了。

そこから、作品を組み立てて完成。多いときは2万個以上のプルタブを使い、10か月

恩返しの気持ちも込めて
台本のない製作を



今野 晃男さん
(開拓・32区)

こんの・てるお●1937年生まれ。岩手県出身。10年前にボケ防止のため、チラシを使った作品づくりを始める。その後、家にたまっていたプルタブを見つけ、試行錯誤をくり返し作品を製作。今では15作品以上にのぼる。台本のない製作作業には、10か月以上費やしたことも。

ただ作品を作っていると反響もあり「すごいね」「毎回楽しみ」などの声を頂きます。そして展示をすると、お賽銭のように皆さんからプルタブが集まってきました。それも糧となり、ここまで長く続けて来れました。

私にとって新しい作品を作ることが、プルタブをくれた人への恩返し。次回作は未定ですが、作り始めたらまた新たなものが生まれると思えますね。何しろ、私は何か始めたら最後までやり遂げないと気が済まない性格なので(笑)。

おうちの仲間たち No.348

翁流朗吟愛好会

翁流朗吟愛好会は、昭和47年に詩吟愛好者を中心に発足。40年以上続く歴史あるサークルです。現在は8人のメンバーで楽しく活動しています。皆さんは詩吟というとどんなイメージをしますか。「難しそう」「玄人しかできなさそう」なんて思っていないですか。このサークルでは翁流2代目の沼崎星翁先生が丁寧に教えてくれますので、初心者でも気軽に始めることができますよ。詩吟は、漢詩を中心に和歌や俳句、現代詩などを吟じます。詩の内容を考え、歌うことで先人たちの考えや歴史なども学ぶことができます。そして、吟じるときには腹式呼吸で大きな声を出すので、脳の活性化やストレス解消にもつながります。また、腹式呼吸は健康にとってもいいそうです。興味がある人はぜひ私たちと一緒に気持ちよく吟じませんか。まずは見学からどうぞ。

活動日 第1・2・3火曜日
時間 午後1:30~3:00
場所 邑楽町公民館
問合先 邑楽町公民館☎88-1290



FRIENDS